

平成 21 年 2 月 26 日
農林水産省改革推進室

農林水産省改革の進捗状況について
(平成 21 年 2 月 20 日までの取組)

1 過去一ヶ月の取組の総括

- (1) 農林水産省の工程表において、平成 21 年 3 月末までに一定の結論、成案等が求められている事項については、関係部局・部署において具体的な検討が進められており、一部には既に成案が得られたものがある。
- (2) さらに、本省・地方出先機関を問わず、担当以外の部局・部署が、担当部局の作業を待たずに自発的に独自の取組を行う例も増えてきている。一部には、具体的な成果が出てきたものもある。
- (3) 一方で、次のような現象が見られる。
- ① 成果を出すための工夫の欠如
他部局・部署の先行事例を参考にして取組を開始するところが多くなって
いるが、独自の工夫がなく模倣にとどまっているものがある。成果を上げる
ことではなく、取り組むこと自体が目的化する現象が一部で見られる。
- ② 改革に向けた一体感の不足
省改革に向けて、「課」単位では上司と部下とのコミュニケーションを図
る努力を行う例が多いが、部局単位でこのような取組を行う例はまだ少ない。
その結果、部局全体として改革への一体感が不足しているところがある。
- ③ 一部職員の負担の過重化
本省・地方組織を通じて、改革に向けた作業の取りまとめや指令塔役を負
っている職員、特に総務・企画部門の職員の負担が重くなっている。その結
果、事務的作業の期限延期、深夜残業の発生といった問題が生じている。

2 今後の対応方向

(1) 幹部による率先行動

全体として、幹部が率先して取組を行っている部局ほど職員による積極的な取組がみられる傾向にあることから、引き続き各部局の長をはじめとした幹部職員の率先した取組が必要である。

(2) 成果を意識した取組の工夫

先行的事例を参考にする場合は、各部局・部署に合わせた工夫をしつつ取り入れるべきである。また、民間企業で成果が上がっている取組も参考にすべきである。

(3) 幹部と一般職員との意思疎通

各部局の幹部は、直接一般職員と意見交換する場を持ち、職員からの率直な意見の汲み上げに取り組むとともに、その結果把握された改革を阻む問題点の解消に共に取り組むべきである。

(4) 改革を進める体制の改善

各部局・部署の幹部は、業務が過重となっている総務・企画部門の職員の業務の平準化に取り組むべきである。また、要すれば、部局内で改革に関連する事務を専任で担当する体制を整備すべきである。

3 「農林水産省改革の工程表」における積極的、先行的な取組

(1) 開放的な参加型政策決定プロセスへの移行

- 平成21年度の畜産物の政策価格等の決定プロセスにおいて、開放的な政策決定プロセスへの移行の一環として、国民からの畜産政策に関する意見を踏まえるため、2月10日より農林水産省のホームページにおいて、政策提案を募集した。(生産局)

(2) 親切、丁寧、正直をモットーとする業務実行の徹底

- ① 職員の接客態度等について、来庁者を対象とした無作為の出口アンケートを実施し、第三者の視点に立った取組の検証を行っている。(近畿農政局)

② 部局、部署独自のマニュアルの作成が進められるとともに、接遇マニュアルを補完するものとして、接客頻度の高い電話交換手、守衛等の経験をまとめた「小さな心遣い集」、外国からの訪問者等の対応に関するマニュアルを率先して作成した。(経理課、国際部)

③ 関係者や現場職員に、施策をより良く理解してもらえるよう、通知等の発出の際に、施策の背景、目的、ポイントなどをまとめたメッセージの添付に取り組み始めた部署がある。

- ・ 経営所得安定対策の交付金交付に係る総点検について、作業に至った背景や現状、その目的や必要性等に関する課長名の説明レターを地方農政局等に送付し、好評を得た。(経営局)
- ・ 「輸入米穀買入委託契約書」の一部改正について、改正の背景及びポイント等を簡潔に説明した資料を添付した。地方での評価を受けるとともに、業界への説明の際にも活用されている。(総合食料局)

(3) 消費者を含めた第三者の意見の反映

- これまで、ホームページで情報を提供するだけだった国有林モニターの募集を、より幅広い国民の皆様のご参加をいただくため、市町村等の広報誌への掲載や報道機関への情報提供など情報提供手法を多様化した。(東北森林管理局)

(4) 分断されたカルチャーの融合と共通の使命感の醸成

- 様々な国際交渉の場において、他の交渉案件も話題にできるよう、各々の交渉の経緯と我が国の主張等を取りまとめた「農林水産省国際交渉一覧」を作成し、各局庁で情報を共有した。(国際部)

(参考)

工程表において3月末までに結論・成果等を得ることとされている事項

	事 項	関係部局	進捗状況
1	政策決定プロセスの評価・検証	各局庁	検討中
2	政策決定プロセスのチェック業務・組織の在り方の基本的な考え方	改革推進室	検討中
3	接遇マニュアルの作成	秘書課	検討中
4	平成21年度研修計画の策定	秘書課	検討中
5	政策説明会の改善案の作成	各局庁、各地方組織	検討中
6	積極的な外部説明方策の策定	各局庁、各地方組織	検討中
7	省全体の政策の外部説明マニュアル(政策外交員)	政策課、秘書課	検討中
8	都合の悪い情報の公開に向けた報道・情報提供マニュアルの策定	報道室、情報評価課	検討中
9	内部監査業務・組織の在り方の基本的な考え方	改革推進室	検討中
10	内部通報ルール of 策定	秘書課	検討中
11	リスク管理プロセスのガイドラインの策定	政策課、関係部局	検討中
12	「ヒヤリ・ハット体験」の共有化方策の策定	政策課	成案作成済み
13	一元的な情報管理体制の検討	情報評価課	検討中
14	危機管理対応体制・マニュアルの策定	関係部局	検討中
15	危機を予見する情報提供を統括する部署の決定	情報評価課	検討中
16	危機発生時の情報提供マニュアルの策定	報道室、情報評価課	検討中
17	危機関連情報の提供をチェックする体制の検討	報道室	検討中
18	危機関連情報をチェックする専門的知見を有するスタッフの育成方法	秘書課	検討中
19	リスク管理・危機管理対応の評価等の業務・組織の在り方の基本的な考え方	改革推進室	検討中
20	全職員の参画を得た業務再点検の実施、結果の公表	各部署	検討中
21	業務運営に関する第三者からの意見を伺う体制の検討	各局庁、各地方組織	検討中
22	行動規範原案の作成	秘書課	検討中
23	新たな人事評価の省内ルールの作成	秘書課	検討中
24	「人事交流拡大計画」に盛り込む事項の整理	秘書課、地方課	検討中
25	本省課長職登用にに関する省内ルールの作成	秘書課	検討中
26	食品安全に係る研修の実施	秘書課、消費・安全局	検討中
27	食品安全研修の講師を担う人材育成・組織体制の整備	秘書課	検討中
28	BSE問題、事故米問題に関する失敗や経験のレポートの作成	関係部局	検討中
29	地方出先機関からの苦情等を処理する「地方ホットライン」の設置	政策課	成案作成済み
30	IT技術を活用した本省と地方出先機関との会議方法の検討	地方課	検討中
31	IT技術を活用した本省と地方出先機関との会議システムの導入	情報評価課	検討中
32	不適切な労使慣行がないかの点検	秘書課、地方課	検討中
33	主要食糧業務の今後の取扱及び見直し後の組織の在り方の基本的な考え方	総合食料局	検討中
34	地方農政局・地方農政事務所が担っている業務の今後の取扱及び見直し後の組織の在り方の基本的な考え方	地方課	検討中
35	「農林水産省機構改革の基本方針」の取りまとめ	改革推進室、文書課	検討中
36	職員の自主的なプロジェクト活動を推奨する方策の検討	秘書課	検討中
37	若手職員を対象とした顕彰制度の検討	秘書課	検討中